

## 集会案内

### 日曜日

礼拝：2:00pm-2:45pm

### 教会住所

c/o Grace Hills Church  
24521 Moulton Pkwy  
Aliso Viejo, CA 92637  
中庭の小さいチャペル

### 地図



### ホームページ

[www.irvinenihongokyokai.org](http://www.irvinenihongokyokai.org)

### 榑原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール: [nobu@occc.org](mailto:nobu@occc.org)

### 杉村宰牧師

電話 (714)527-1456

Eメール: [sugimura1950@gmail.com](mailto:sugimura1950@gmail.com)

◎石叫■

「瀬戸一典」②

力強く離陸していく飛行機は、自分が乗るはずの航空会社と同じで、轟音が妙に耳に残る機影でした。「自分は関空行きだけど、今飛んで行ったのは羽田？ 成田行き？」と、飛行機好きの自分も知らない便があるのだなあ、などと思いを巡らせていたのですが、なぜか冷や汗と寒気が…。結果的に、自分が廊下の窓から見た飛行機は、私が乗っていないなければならないハズの飛行機だったのです。今でも、ぐんぐん上昇する飛行機の車輪がスローモーション映像のように格納されていく様が、まるで望遠レンズで追うかのごとくハッキリと脳裏に焼き付いています。数時間前に激励を受け、大きく手を振って別れたS兄にもう一度LAXまで迎えに来てもらい、無言のまま自宅まで送り届けて頂きました。十七日の金曜日のフライトに振り替えてもらったので、結婚式には間に合いましたが、私の失敗は親族一同、教会員の皆々様に至るまで知れ渡る事となり、『結婚生活とはへりくさりである』という真理を強制的に学ばせられたのでした。一方、奥様におかれましては、無駄に期待する事をせず、という真理を亲身体験で学ばれ、以来、肅々と慣れない土地での新生活を送り続け、今日に至っておられるのです。(二〇二二年九月十七日「オレンジ郡教会の週報」)

瀬戸君はかつて、ある航空会社のパイロット志願者であった。その彼ならではの詳しい状況説明と心の揺れの描写に、思わず引き込まれる手記である。

主イエスの弟子たちにも大失態があった。ある日、主がペテロに対して、ご自身の行く末を語られた時、彼は「あなたのためには、命も捨てます」(ヨハネ一三・37)と大見えを切ったことがあった。だが、いざ主が捕らえられ、周りの人々から、「あなたもあのイエスの仲間だ」と詰め寄られた時、彼は言下にそれを否定した。自分も捕まっても殺されるかも知れないと思ひ、救い主とも頼んだお方をさへ裏切ったのである。主は、そのような彼に「わたしはあなたの信仰がなくならないように、あなたのために祈った」(ルカ二二・32)と言って彼を励ましていた。主は人の弱さを知っておられたがゆえに、たとえ自分が裏切られても人を責めようとはなさらなかったのである。失敗は、神を信じる者を真実な悔い改めに導き、信仰を羽ばたかせる大事なレッスンだからである。

Rev. Tsukasa Sugimura

### 【わたしたちの教会の歩み】

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、榑原宣行牧師、加藤伸江姉、佐藤裕士兄と信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをしております。

### 【ミッション ステートメント】

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。